

2023年度委員会事業報告書

グループ名 豊川モデル創造グループ 委員会名 青春チャレンジチヨイス委員会

担当副理事長	杉本 有史
委員長	豊田 圭祐
副委員長	平松 誠也
小幹事	加藤 弘
副委員長	名倉 司
小幹事	萩原 一輝
副委員長	赤羽 将典
小幹事	木村 優介
副委員長	平野 裕三
小幹事	志賀 雄太
総括幹事	近 雄太
拡大幹事	中根 良征
運営幹事	加藤 直達
広報幹事	成沢 琢朗
アドバイザー	谷口 慶一



【担当事業及び担当例会】

9月公開例会 SBGsEXPO～スポーツの力で持続可能な部活動を共創する！～

10月公開例会 豊川市が「部活動の地域移行」をするならば。発表会

【実施効果及び成果】

豊川市でも部活動の地域移行についての方向性を見出せていないなかで、9月、10月を行い豊川市の部活動の地域移行への一歩となるSBGs EXPOを開催し、部活動の地域移行後の活動を具現化し、豊川市内の有識者の方々を集め、部活動の地域移行についての検討会議を行政が行うまえに先んじて開催しました。

また、10月例会にて豊川市長、教育委員会に対し「豊川市における部活動の地域移行を含めた検討会議の報告書兼要望書」を提出させていただきました。

【反省並びに今後の課題】

部活動の地域移行について、本来であれば掘り下げる項目が多くありましたが項目を指定して議論したことにより一部しか内容を共有することができませんでした。

また、部活動の地域移行後どうなるのか。ということで9月例会を開催しましたがイメージがつか

かないなどの意見をいただきました。

今後、この活動は引き継がれていきますので豊川市の中学生やその保護者、教員、市民がこの課題について認識していただければと思います。

【委員長所見】

昨年の予定者から様々な方々からお話をお聞きし、部活動の地域移行について理解を深めていた最中ガイドラインが改定され一から出直すことになり、同時に委員会メンバーも増加したことで組織的な運営はできていませんでした。しかしながら、個々でサポートしてくれた委員会メンバーに大変感謝しており、本年度の活動によって市にも大きな影響を与えることができたと考えております。しかし、この課題は単年度で大きく変わることもありますが、継続的に行っていくことで市民にも広がっていくと考えております。また 10 月例会では、市長に報告書兼要望書を提出することで、大きな影響も与えることができたと自負しております。これも事業にご協力いただきましたすべてのメンバーのおかげです。誠にありがとうございました。

【担当室長所見】

部活動の地域移行という難しい課題ですが、少しでも豊川市の子供たちのためになりたい、という思いで一年間活動してまいりました。検討会議、SBGs EXPO など全 4 回の事業を通じ豊川市の現状を知ることが出来たと同時に、部活動の地域移行を推進していくには膨大な労力と継続した取り組みが必要だと感じました。この一年の活動の成果は、なかなか目に見えるものではないかもしれませんが、今回の取り組みが豊川市に合った部活動の在り方を見出すきっかけになったのではと感じております。豊川青年会議所の取り組みとしては本年度で一旦幕を閉じますが次年度以降も子供たちの未来のために部活動、スポーツを楽しめる環境造りに携わっていかれたらと思います。